

LAB.GRUPPEN

D-Series Q-SYS™ Plugin v1.1.0 リリースノート

機能、互換性、及び既知の不具合に関する重要なお知らせ

Headlines – 新着情報

新機能

- ・ フレームプリセット・リコール及びストア機能が追加されました。
- ・ メインビュー及び、Break Emulation Limiter(BEL)コンフィグレーションが追加されました
- ・ スタンバイやプリセットリコールを確認する (Sure-Check) 機能が追加されました。

解決した不具合

- ・ EmulateモードとRuntime時の動作が異なっていた不具合の解消

1 目次

2	D Series Lake Q SYS Plugin v1.1.0 (2019年07月12日)	3
2.1	新機能	3
2.2	解決した不具合	3
3	リリースストーリー	4
3.1	D Series Lake Q SYS Plugin v1.0.0 (2019年05月14日)	4
3.2	新機能	4

2 D Series Lake Q SYS Plugin v1.1.0 (2019年07月12日)

このインストーラーのソフトウェアおよびファームウェアコンポーネントです。

Component	Version	New	Comments
D Series Q-SYS Plugin	1.1.0	×	PLM+シリーズにも対応
Documentation QSG	1.1.0	×	

2.1 新機能

- フレームプリセットセクションを有効にした場合、リコールやストアが利用できるようになりました。
 - ・ リコール (Recall) : アンプ内のフレームプリセットを選択して呼び出すことができます。フレームプリセットは、Lake Controller と Q-SYS プラグインからリコールを行うことができます。また、Preset Manager を介して転送を行うこともできます。
 - ・ ストア (Store) : アンプの設定をアンプ内のフレームプリセットに保存することができます。(最大 100 プリセット)
- メインセクションを有効にした場合、メインインプットと Break Emulation Limiter (BEL)コンフィギュレーションが利用出来るようになりました。
 - ・ メイン : 電圧(rms)及び、電流(rms)を確認することが出来るようになりました。
 - ・ BEL: ヒューズタイプ (特性) と BEL で使用される公称電流の構成を確認することが可能になりました。
- Sure-Check がデフォルトで有効になりました。スタンバイもしくはプリセットリコールに設定された電源オプションが押された時に再確認が必要になりました。実行するには 3 秒以内に 2 回押してください。

注意 : 2 番目のインプットにもコントロール・ピン (Control Pins) が必要になります。無効にしたい場合にはプラグインのプロパティで[Sure-checks]を[No]に設定します。

2.2 解決した不具合

- Emulate モードと Runtime 時の動作が異なっていた不具合を解消しました。

3 リリースヒストリー

3.1 D Series Lake Q SYS Plugin v1.0.0 (2019年05月14日)

このインストーラーのソフトウェアおよびファームウェアコンポーネント

Component	Version	New	Comments
D Series Q-SYS Plugin	1.0.0	×	PLM+シリーズにも対応
Documentation QSG	1.0.0	×	

3.2 新機能

- Dシリーズ（およびQ-SYS DesignerのPLM+シリーズアップ）用のネイティブ・プラグインが追加されました
- 個別のLoadPilotインピーダンス読み取りセクションもしくは、コントロール・ピンからの読み取りが出来るようになりました。
- 個別のInput Router及びInput Mixerのコントロール」もしくは、コントロール・ピンからの操作が出来るようになりました。